



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月11日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3143 URL https://owill.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊達 一紀  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 青柳 あゆみ TEL 03 (5772) 4488  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	17,834	6.9	477	2.4	524	16.4	378	19.2
2019年3月期第2四半期	16,679	2.8	466	48.4	450	47.9	317	45.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 324百万円 (△16.9%) 2019年3月期第2四半期 390百万円 (89.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	120.28	—
2019年3月期第2四半期	100.91	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	9,951	2,905	28.7	905.97
2019年3月期	11,224	2,706	23.6	842.11

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 2,853百万円 2019年3月期 2,652百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	2.0	646	8.4	648	9.2	450	9.3	142.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名）－除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	3,150,000株	2019年3月期	3,150,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	260株	2019年3月期	260株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	3,149,740株	2019年3月期2Q	3,149,781株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、経済・金融政策の効果もあり、緩やかな回復基調で推移しております。一方、米中貿易摩擦の長期化による世界経済への影響や中国経済の減速懸念などに加えて、消費税率引き上げ後の国内消費の動向など、景気の先行きに不透明感があり、楽観視できない状況が続いております。

当社グループの主力マーケットである食品飲料業界においては、原材料価格、人件費の上昇や物流費の高騰など、厳しい経営環境が続いております。そのような中、メーカー各社は、多様化した個人ニーズやトレンドに対応した商品開発に注力し、市場の活性化を図っております。

当社グループは「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安全な商品を提供することを第一に品質管理体制の強化を図り、お客様のニーズに合わせた安定的な供給の継続及びサービスの向上に努めてまいりました。卸売事業においては、既存事業の深耕ならびに新規事業の拡販に注力し、事業基盤の強化を図ってまいりました。農産物加工品や乳製品の販売数量が増加したことや環境ビジネス関連の大型シーリングファンの成約件数が増加したことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は17,834,181千円（前期比6.9%増）となりました。また利益面においては、販売活動にともなう運賃や諸経費などの物流経費が増加したものの、売上増加にともない売上総利益が増加したことにより、営業利益は477,987千円（前期比2.4%増）、経常利益は524,404千円（前期比16.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は378,844千円（前期比19.2%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### <卸売事業>

飲料市場においては、飲料メーカー各社、主力ブランドの拡張や新需要の喚起に注力し、事業基盤の強化を図っておりますが、企業間競争の激化や生産コストの上昇など、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社グループは取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め既存取引先のサービス向上と新規商材の開発・販促に注力してまいりました。果汁などの農産物加工品や脱脂粉乳などの乳製品の販売数量が増加したことに加え、排水浄化プラントの販売や屋内施設向け大型シーリングファンの売上が伸長いたしました。

この結果、売上高は17,497,461千円（前期比7.9%増）となりました。

#### <製造販売事業>

美味しさと素材にこだわった高品質で体にやさしいアイスクリームの開発に注力し、製造技術の向上、品質管理の強化に努め、取引先のニーズに合った商品を提供してまいりました。カップアイスクリームの販売数量が増加したものの、業務用バルクアイスや菓子メーカー向けのPB商品の受注が減少したことから、製造販売事業の売上高は391,442千円（前期比7.9%減）となりました。

#### <その他>

その他においては、FC事業がありますが、東京大手町地区にてコンビニエンスストアを3店舗経営しております。各店舗の日販は前年に比べ増加しているものの、2019年3月に1店舗閉店したことにより、売上高は315,274千円（前期比22.9%減）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態の分析

① 資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,275,332千円減少し、8,634,671千円となりました。主な要因は、現金及び預金、棚卸資産の減少によるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,837千円増加し、1,316,519千円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,273,495千円減少し、9,951,190千円となりました。

② 負債の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,424,170千円減少し、5,865,402千円となりました。主な要因は、買掛金及び未払金の減少によるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ47,780千円減少し、1,180,568千円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1,471,950千円減少し、7,045,970千円となりました。

③ 純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ198,455千円増加し、2,905,220千円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年5月10日に発表いたしました数値と変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,040,402	1,228,999
受取手形及び売掛金	5,181,516	5,138,219
商品及び製品	1,705,241	1,493,328
未着商品	562,580	564,527
原材料及び貯蔵品	30,778	35,004
未収入金	172,329	86,392
その他	222,954	93,698
貸倒引当金	△5,800	△5,500
流動資産合計	9,910,003	8,634,671
固定資産		
有形固定資産	440,242	468,609
無形固定資産	7,232	7,230
投資その他の資産	867,207	840,679
固定資産合計	1,314,682	1,316,519
資産合計	11,224,686	9,951,190
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,703,974	4,603,702
1年内返済予定の長期借入金	696,722	713,079
未払金	455,338	170,924
未払法人税等	105,592	174,693
賞与引当金	41,683	44,889
その他	286,261	158,114
流動負債合計	7,289,572	5,865,402
固定負債		
長期借入金	1,135,903	1,114,595
資産除去債務	3,318	1,681
その他	89,126	64,291
固定負債合計	1,228,348	1,180,568
負債合計	8,517,921	7,045,970
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	292,475	292,475
利益剰余金	1,726,725	1,979,580
自己株式	△200	△200
株主資本合計	2,382,388	2,635,243
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	235,798	194,655
繰延ヘッジ損益	△114	△45
為替換算調整勘定	34,358	23,706
その他の包括利益累計額合計	270,043	218,315
非支配株主持分	54,333	51,661
純資産合計	2,706,764	2,905,220
負債純資産合計	11,224,686	9,951,190

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	16,679,643	17,834,181
売上原価	15,093,019	16,178,780
売上総利益	1,586,624	1,655,400
販売費及び一般管理費	1,119,886	1,177,413
営業利益	466,737	477,987
営業外収益		
受取配当金	3,970	4,084
受取手数料	3,222	3,222
為替差益	—	35,336
受取補償金	1,563	753
その他	1,739	8,864
営業外収益合計	10,495	52,260
営業外費用		
支払利息	5,276	4,432
為替差損	20,264	—
支払補償費	1,059	1,315
その他	97	95
営業外費用合計	26,697	5,843
経常利益	450,535	524,404
特別利益		
固定資産売却益	—	7,651
特別利益合計	—	7,651
税金等調整前四半期純利益	450,535	532,056
法人税、住民税及び事業税	131,814	163,464
法人税等調整額	2,154	△9,076
法人税等合計	133,969	154,388
四半期純利益	316,566	377,667
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,270	△1,177
親会社株主に帰属する四半期純利益	317,836	378,844

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	316,566	377,667
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42,312	△41,143
繰延ヘッジ損益	12,377	68
為替換算調整勘定	19,039	△12,147
その他の包括利益合計	73,729	△53,222
四半期包括利益	390,295	324,444
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	388,360	327,116
非支配株主に係る四半期包括利益	1,934	△2,672



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	450,535	532,056
減価償却費	44,015	29,171
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,022	△300
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,222	3,206
受取利息及び受取配当金	△4,329	△4,550
支払利息	5,276	4,432
為替差損益 (△は益)	△12,388	4,096
固定資産売却益	—	△7,651
売上債権の増減額 (△は増加)	△781,597	39,613
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△128,102	205,356
未収入金の増減額 (△は増加)	100,700	85,921
前渡金の増減額 (△は増加)	△100,211	145,966
仕入債務の増減額 (△は減少)	955,332	△1,097,813
未払金の増減額 (△は減少)	78,719	△282,837
未払消費税等の増減額 (△は減少)	36,607	31,277
前受金の増減額 (△は減少)	82,811	△150,129
その他	△13,597	△34,331
小計	724,016	△496,514
利息及び配当金の受取額	4,329	4,550
利息の支払額	△5,316	△4,407
法人税等の支払額	△123,496	△95,522
営業活動によるキャッシュ・フロー	599,533	△591,893
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△7,052	△64,996
無形固定資産の取得による支出	—	△1,638
差入保証金の差入による支出	—	△1,722
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,052	△68,358
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	—
長期借入れによる収入	350,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△448,248	△404,952
リース債務の返済による支出	△15,993	△8,829
配当金の支払額	△103,757	△126,442
自己株式の取得による支出	△40	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,040	△140,223
現金及び現金同等物に係る換算差額	22,664	△10,927
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	597,105	△811,402
現金及び現金同等物の期首残高	1,820,721	2,040,402
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,417,826	1,228,999

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,094,942	175,597	16,270,540	409,103	16,679,643	—	16,679,643
セグメント間の内部 売上高又は振替高	115,072	249,458	364,530	—	364,530	△364,530	—
計	16,210,014	425,055	16,635,070	409,103	17,044,173	△364,530	16,679,643
セグメント利益	438,107	25,252	463,359	4,459	467,819	△1,081	466,737

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,081千円は、セグメント間取引消去△1,081千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,390,844	128,062	17,518,906	315,274	17,834,181	—	17,834,181
セグメント間の内部 売上高又は振替高	106,617	263,380	369,997	—	369,997	△369,997	—
計	17,497,461	391,442	17,888,904	315,274	18,204,178	△369,997	17,834,181
セグメント利益	455,705	11,789	467,495	8,055	475,550	2,436	477,987

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額2,436千円は、セグメント間取引消去2,436千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。